



スター精密株式会社
第75期事業報告書

株主の皆様へ

STAR'S REPORT

75



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに当社第75期(平成11年3月1日より平成12年2月29日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期における世界経済は、米国経済は引き続き好調を持続し、欧州ならびにアジア経済も総じて景気回復基調にありました。一方、我が国経済は依然として民間設備投資や個人消費が停滞し、全般に浮揚感の乏しい状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社は新しい経営体制のもと、採算性を重視した製品群の見直しと組織改編を行うなど経営資源を最大限活用し、営業活動に鋭意励んでまいりました。

電子機器部門および工作機械部門におきましては、世界的な拡大基調にある通信・情報産業分野を中心に需要家のニーズに適合した製品開発に努め、積極的な販売活動を展開いたしました。その結果、電子ブザーは大手携帯電話機メーカーからの受注が急増したことなどから、大幅に売上げを伸ばすことができました。また、CNC自動旋盤は国内およびアジア地域で売上げを伸ばしたものの、欧米地域では需要の鈍化と急激な円高の影響により売上げが減少いたしました。精密部品部門におきましては、非時計分野の部品受注に注力いたしました。腕時計メーカーの生産調整を受け苦戦を強いられました。

以上を総合して、当期の売上高は385億7千2百万円(前期比0.5%増)となりました。利益面につきましては、前期に比べ為替相場が円高で推移し厳しい環境下ではありましたが、経費削減に努める一方、生産性の向上を図るため設備の更新を積極的に進めました結果、営業利益は25億1千8百万円(前期比4.8%増)、経常利益は24億2千1百万円(前期比4.1%増)、当期利益13億1千3百万円(前期比18.6%増)となり、3期連続の増収増益となりました。

連結業績につきましては、電子機器部門が業績を伸ばしたものの工作



平成12年5月
取締役社長

糟谷省三

機械部門における欧米での販売が伸び悩み、収益の減少を余儀なくされました。

株主の皆様に対する利益配当金につきましては、従来からの当社の政策であります安定配当の維持を基本とし、業績の状況および会社を取り巻く環境などを総合的に勘案して行ってまいりたいと考えております。この当社の政策に基づき、当期の利益配当金につきましては、前期と同じく1株につき3円50銭(中間配当金を含め年7円)とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界経済は総じて堅調に推移すると予測されるものの、好調を続ける米国経済には景気の減速が懸念されます。また、我が国経済は景気回復の足取りは重く、厳しい経営環境が続くものと予測されます。

当社といたしましては、情報技術の加速度的な発達を背景に、世界市場で生き残るための国際競争力を身につけるため、グローバルな視点で開発・生産・販売の各体制の最適化を図り、経営資源の再配分に取り組んでまいります。また、常に成長領域での事業展開を意識し、経営環境の変化にも適合した企業体の確立に向けグローバルグループ経営に徹してまいります。

当社は本年7月に創立50周年を迎えますが、これも株主の皆様の暖かいご支援の賜物と感謝いたしますとともに、新たな決意でグループ一丸となって一層の業績向上を期する所存であります。

なお、当社の経営課題として捉えてまいりましたコンピュータ西暦2000年問題につきましては、事業運営に影響を与えるような問題は発生いたしておりません。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

電子機器部門



電子ブザーMQT-03E



小型プリンタTSP-200



水平プリンタLC-8521



カードリーダー/ライターMCP200

工作機械部門



SR-16/20R



SV-32



SA-16



SE-12/16

精密部品部門



捲真



ヘッダーネジ



ボタン



光コネクタ部品

当部門の電子ブザーは、移動体通信機器市場の世界的な拡大が続くなか、小型・薄型化した面実装タイプの製品が携帯電話機用として高い評価を受け受注が急増し、売上げを大きく伸ばしました。また、大幅な受注増に 대응するため日本および中国の生産拠点を整備、拡充するなど、積極的に事業規模の拡大に努めました。

一方、小型プリンタは、高速・高機能化を実現したサーマルタイプのTSPシリーズの拡販に努めましたが、円高の影響などにより売上げは減少いたしました。また、大型プリンタは、中国市場においてビジネスプリンタのOEM供給などの販路拡大に努めましたが、同国の経済引き締め政策の影響もあり代理店向けの販売が低調に推移し、売上げは減少いたしました。以上の結果、当部門の売上高は235億9千万円(前期比7.5%増)となりました。

当部門のCNC自動旋盤は、高度・多様化する加工ニーズに対応したSR-20、SV-32などの機種が、高速・高操作性に加え二次加工能力および難削材への対応力について高い評価を受けました。国内市場では、設備投資の回復が遅れているなかで、幅広く販売活動を展開いたしました結果、パソコン関連機器や通信機器業界などを中心に売上げを伸ばしました。海外市場では、景気が回復傾向にあるアジア地域において売上げを伸ばしましたが、欧米地域では、需要の鈍化と円高の影響を受け、特に欧州向けでは急激なユーロ安などもあり、売上げが減少いたしました。以上の結果、当部門の売上高は107億5千3百万円(前期比5.3%減)となりました。

なお、当部門は国際標準化機構の品質保証規格「ISO9001」の認証を取得いたしました。

当部門の主力製品であります腕時計部品は、腕時計メーカーが長引く国内消費の低迷やムーブメントの価格変動により急激な生産調整を実施したため、受注が大幅に減少いたしました。また、同メーカーからの大幅な値引き要請が相次ぐなど大変厳しい環境が続きました。一方、精密加工技術を応用した光通信機器、医療機器およびパソコン関連機器向け精密部品など非時計分野での受注拡大に積極的に努めました。以上の結果、当部門の売上高は42億2千7百万円(前期比16.8%減)となりました。

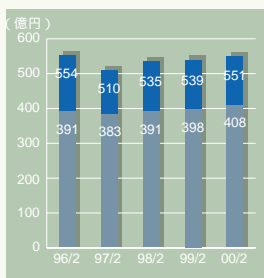
なお、当部門は国際標準化機構の品質保証規格「ISO9002」の認証を取得いたしました。

主要財務データ

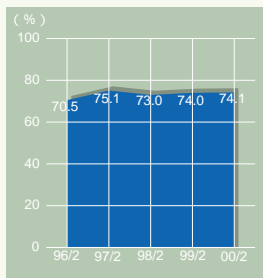
要約単体貸借対照表

科目	当 期 00年2月期	前 期 99年2月期
資産の部		
流動資産	32,905	30,543
現金及び預金	5,513	5,055
売掛債権	13,393	13,906
たな卸資産	6,732	7,648
その他資産	7,364	4,059
貸倒引当金	99	126
固定資産	22,223	23,370
有形固定資産	10,754	10,989
建物及び構築物	3,058	3,301
土地	2,120	2,180
その他	5,575	5,507
無形固定資産	140	165
投資等	11,328	12,215
子会社株式	3,118	3,118
投資有価証券	1,627	1,939
その他投資	6,583	7,163
貸倒引当金	0	5
資産合計	55,128	53,914

総資産
純資産



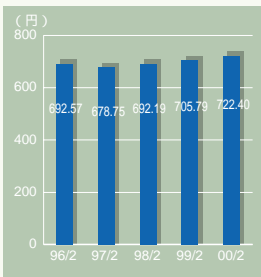
株主資本比率



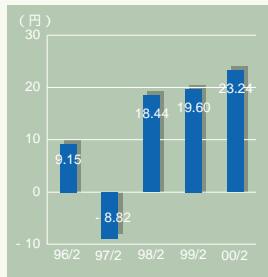
単位:百万円

科目	当 期 00年2月期	前 期 99年2月期
負債の部		
流動負債	12,653	13,194
買掛債務	10,427	10,507
1年内償還予定転換社債		35
1年内返済予定長期借入金	212	1,217
未払法人税等	535	37
賞与引当金	749	863
その他負債	728	533
固定負債	1,635	846
長期借入金	1,467	679
役員退職引当金	168	167
負債合計	14,289	14,041
資本の部		
資本金	12,721	12,685
法定準備金	14,552	14,470
剰余金 (うち当期利益)	13,565 (1,313)	12,717 (1,107)
資本合計	40,839	39,873
負債及び資本合計	55,128	53,914

1株当たり株主資本



1株当たり当期利益



要約単体損益計算書

単位:百万円

科目	当期 00年2月期	前期 99年2月期
営業損益の部		
売上高	38,572	38,392
売上原価	28,328	28,016
販売費及び一般管理費	7,724	7,973
営業利益	2,518	2,402
営業外損益の部		
営業外収益	1,295	1,033
営業外費用	1,392	1,108
経常利益	2,421	2,327
特別損益の部		
特別利益	24	219
特別損失	404	1,422
税引前当期利益	2,041	1,124
法人税及び住民税		17
法人税、住民税及び事業税	728	
当期利益	1,313	1,107
前期繰越利益	1,789	1,132
中間配当額	197	197
利益準備金積立額	19	19
当期末処分利益	2,885	2,022

利益処分

単位:百万円

科目	当期 00年2月期	前期 99年2月期
当期末処分利益	2,885	2,022
固定資産圧縮積立金取崩額	14	14
合計	2,899	2,037
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金	25	25
利益配当金 (1株当たり配当金)	197 (3円50銭)	197 (3円50銭)
役員賞与金 (うち監査役分)	25 (2)	25 (3)
次期繰越利益	2,651	1,789

(注)1. 平成11年11月22日に197百万円(1株につき3円50銭)の中間配当を実施いたしました。

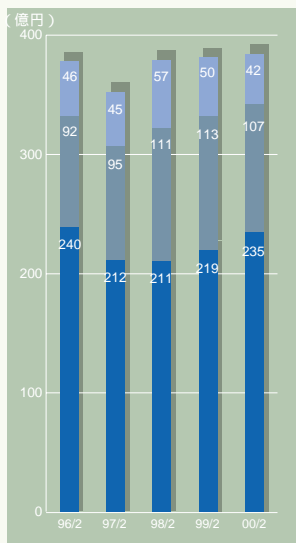
2. 固定資産圧縮積立金取崩額は、租税特別措置法に基づくものであります。

单体主要財務情報

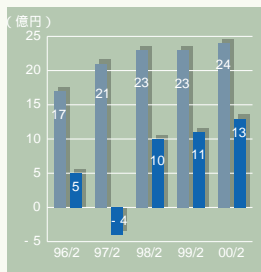
項目		96年2月期	97年2月期	98年2月期	99年2月期	00年2月期
経営成績						
電子機器部門	百万円	24,006	21,252	21,123	21,948	23,590
工作機械部門	百万円	9,248	9,566	11,174	11,359	10,753
精密部品部門	百万円	4,607	4,596	5,738	5,084	4,227
売上合計	百万円	37,862	35,415	38,036	38,392	38,572
(輸出比率)	(%)	(67.9)	(64.7)	(62.8)	(69.6)	(69.4)
経常利益	百万円	1,709	2,146	2,301	2,327	2,421
当期利益	百万円	516	498	1,041	1,107	1,313
1株当たり当期利益	円	9.15	8.82	18.44	19.60	23.24
財政状態						
総資産	百万円	55,471	51,049	53,560	53,914	55,128
純資産	百万円	39,126	38,345	39,104	39,873	40,839
株主資本比率	%	70.5	75.1	73.0	74.0	74.1
1株当たり株主資本	円	692.57	678.75	692.19	705.79	722.40

单体部門別売上高

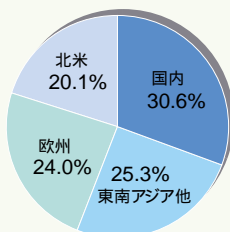
精密部品
工作機械
電子機器



経常利益
当期利益



地域別売上高構成比



要約連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期 00年2月期	前期 99年2月期
資産の部		
流動資産	40,119	38,884
固定資産	19,433	20,288
その他連結調整勘定	3,397	2,351
資産合計	62,950	61,524
負債の部		
流動負債	17,349	19,021
固定負債	2,586	1,863
その他連結調整勘定		55
負債合計	19,935	20,941
少数株主持分	82	
資本の部		
資本金	12,721	12,685
資本準備金	13,876	13,839
連結剰余金	16,341	14,060
自己株式	8	1
資本合計	42,931	40,583
負債、少数株主持分及び資本合計	62,950	61,524

連結主要財務情報

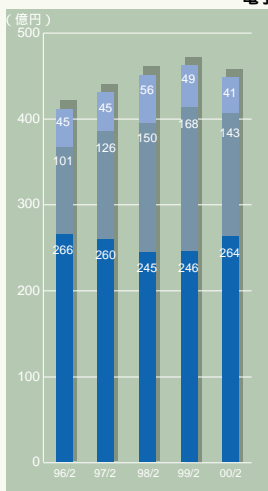
項目	96年2月期	97年2月期	98年2月期	99年2月期	00年2月期
経営成績					
連結売上高	百万円 41,335	43,194	45,219	46,479	44,913
経常利益	百万円 1,178	2,551	2,628	4,729	3,591
当期利益	百万円 420	1,390	1,874	3,899	2,702
1株当たり当期利益	円 7.44	24.62	33.17	69.02	47.84
財政状態					
総資産	百万円 61,078	59,850	60,646	61,524	62,950
純資産	百万円 34,836	34,958	37,023	40,583	42,931
株主資本比率	% 57.0	58.4	61.0	66.0	68.2
1株当たり株主資本	円 616.65	618.82	655.37	718.40	759.48

要約連結損益計算書

単位:百万円

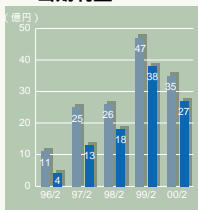
科目	当 期 00年2月期	前 期 99年2月期
営業損益の部		
売上高	44,913	46,479
売上原価	28,851	28,268
販売費及び一般管理費	11,509	12,401
営業利益	4,552	5,810
営業外損益の部		
営業外収益	596	408
営業外費用	1,557	1,488
経常利益	3,591	4,729
特別損益の部		
特別利益	5	286
特別損失	364	204
税金等調整前当期利益	3,232	4,811
法人税及び住民税		834
法人税、住民税及び事業税	511	
その他連結調整勘定	18	77
当期利益	2,702	3,899

連結セグメント別売上高

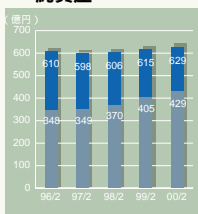


精密部品
工作機械
電子機器

経常利益
当期利益



総資産
純資産



会社の概況

(平成12年2月29日現在)

会社概要

設立	昭和25年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	955名
営業品目	1.電子機器(電子プリンタ、電子プザー、カードリーダライタ) 2.CNC精密自動旋盤等工作機械 3.腕時計部品等精密部品類

役員(平成12年5月25日現在)

代表取締役 取締役社長	糟谷 省三		
専務取締役	小塚 紀宗	取締役	興津 智彦
常務取締役	鈴木 俊弘	取締役	鈴木 完次
取締役	佐藤 肇	取締役	伏見 千秋
取締役	金子 忠邦	監査役(常勤)	松尾 辰之
取締役	藤原 英夫	監査役	今林 勲
取締役	岡本 憲昭	監査役	石井 浩
取締役	加藤 昌弘	監査役	沼田 勝意

(注)監査役 今林 勲、石井 浩、沼田勝意の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

本社・機械事業部(営業部)

〒422-8654 静岡県静岡市中吉田20番10号
TEL.054-263-1111

特機事業部・コンポーネント事業部

庵原工場 〒424-0066 静岡県清水市七ツ新屋536番地
TEL.0543-47-0111

中吉田工場 〒422-8001 静岡県静岡市中吉田18番9号
TEL.054-261-7721

瀬名川工場 〒420-0913 静岡県静岡市瀬名川二丁目29番33号
TEL.054-261-2431

国吉田工場 〒422-8008 静岡県静岡市栗原3番1号
TEL.054-263-6475

機械事業部

菊川工場 〒439-0023 静岡県小笠郡菊川町三沢北ノ谷1500番地34
TEL.0537-36-5511

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目3番6号 楓ビル5階
TEL.03-5256-2656

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル6階
TEL.06-6395-1559

名古屋営業所 〒465-0043 愛知県名古屋市中東区宝が丘25番地 グローバル25 5-A
TEL.052-777-1505

諏訪営業所 〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258番地の7
TEL.0266-58-8132

北関東営業所 〒373-0819 群馬県太田市新島町744番地 松浪ビル2階
TEL.0276-49-1211

精密部品事業部

富士見工場 〒424-0065 静岡県清水市長崎391番地
TEL.0543-46-0234

清水工場 〒424-0065 静岡県清水市長崎213の1番地
TEL.0543-46-3236



海外子会社

会社名/所在地	資本金	持株比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INC(SMA) アメリカ・ニュージャージー	7千米ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD(SMH) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス UK・LTD(SMU) イギリス・ハイヴィッカム	1,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	32,150千米ドル	100%	生産会社
スターマイクロニクス・AG(SMAG) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
A&Sプレジジョンマシンツールズ・LTD(A&S) イギリス・ダーバイシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス MFGドイツ・GmbH(SMMD) ドイツ・アルツァイ	7,700千独マルク	(100%)	生産会社
スターマイクロニクス マネジメントサービス・GmbH(SMMS) ドイツ・フランクフルト	100千独マルク	100%	その他
スターCNCマシンツールCorp(SMTC) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100%	販売会社
ラグロWH・GmbH&Co.KG(LAGRO) ドイツ・ノイエンピュルグ	250千独マルク	(100%)	販売会社

(注)持株比率の欄()内は、間接所有割合を含みます。

国内子会社

会社名	所在地	資本金	持株比率	区分
㈱ミクロ麻機	静岡県静岡市	20百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ沓谷	静岡県静岡市	20百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
スターシステム開発㈱	静岡県静岡市	20百万円	100%	その他
新岩田電子㈱	静岡県静岡市	20百万円	90%	生産会社
㈱ミクロ安倍口	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機㈱	静岡県小笠郡菊川町	10百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスメタル㈱	静岡県小笠郡菊川町	30百万円	66.7%	生産会社
新星総業㈱	静岡県清水市	10百万円	100%	その他

経営資源を最大限活用し 回帰を目指します。

このたび発表した中期経営計画の概要を中心に、当社社長・糟谷省三からご説明させていただきます。

Q —まず最初に、昨年組織機構の改革を行いました
が、その目的は？

A この目的は、組織機構を整理統合（選択と集中）することで、事業部別・製品別の収支（損益）を明確化することにあります。さらに、当社の事業領域の特性を踏まえた上で、変化に強い中小企業的な活力を呼び起こし、かつ各事業部や子会社の持つ技術や市場などの経営資源の融合やシナジー（相乗効果）を期待したものです。

Q —このたび中期経営計画を
発表しましたが、その狙いは？

A 現在の企業を取り巻く経営環境をみますと、グローバル化、情報技術革命の進展、環境重視の社会など変化の潮流がみられます。リストラも一巡した今、この時代の流れを新たなチャ

レンジへの好機としてとらえ、当社では経営資源を最大限活用して成長路線への回帰を目指してまいります。その具体的な方針として「高収益部門への重点投資」「シーズ系ドメイン事業（工作機械・精密部品）のシナジー強化」「グローバルな視点での開発・生産・販売の最適化」を掲げ、当社のコア部門に特化し、差別化を目指した製品開発に重点投資を行い、既存の市場における領域の拡大をはかります。

Q —では、事業部門別の具体的な戦略は？

A まず、電子機器部門のブザー関連事業では、既存製品はもとより関連・派生技術への重点投資により、移動体通信機器用の小型音響部品分野の事業領域拡大をはかり、プリンタ事業では、コスト対応力を高める海外生産の推進、販売のチャネル多様化による拡販を行います。また、工作機械部門は、市場ニーズに適合した製品開発とアジアでの販売体制の確立を、精密部品部門では、

て成長路線への

非時計部品（光通信・PC・医療機器関連部品）における高付加価値部品への絞り込みと拡販、さらに工作機械部門との技術の融合による精密加工のさらなる高質化をはかってまいります。

Q —今後、最も成長が期待できる分野は？

A 電子機器部門のブザー関連事業が、最も成長が期待できる分野といえます。移動体通信機器の大幅な市場拡大は今後も続くものと予想され、世界トップシェアを誇る携帯電話機の着信音用ブザーへの投資はもちろんのこと、当社のコアでもある小型精密加工、組立技術や派生技術である音響技術へも重点投資することにより、移動体用マイクロフォン、レーザー、スピーカーなどの小型音響部品分野への進出を視野にいれております。また、情報通信機器のセットメーカーとの連携を深め、ブザー関連事業における領域の拡大を目指してまいります。

Q —最後に、株主の皆様にごメッセージをお願いします。

A 当社は本年7月に創立50周年を迎えますが、これもひとえに株主の皆様の絶大なご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後につきましても、中期経営計画の達成に向け、グループ丸となり邁進する所存でおりますので、格別のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。なお、当社の企業活動を支えてきていただいた株主の皆様に対し次期の配当金につきましては、年間で1円50銭増配し、8円50銭（中間配当金は前期の中間配当金3円50銭に1円50銭の記念配当を加え5円、期末配当金は前期末と同じく3円50銭）を予定しております。



取締役社長 糟谷省三

吐月峰 柴屋寺



静岡市街より西へ約二十分、国道一号線沿いに車を走らせると、東海道二十番目の宿場町、丸子。山間へ一本入り、細くくねる道程しばらく、右手に吐月峰柴屋寺が姿を現します。

時は室町中期、今から約五百年前。連歌師宗長が、孤独閑寂な余生を楽しむ為にこの地に草庵“柴屋軒”を結んだのが始まり。そして今川氏親もまた、この辺りの自然に心を潤したひとり。国守となった後も訪れ、公財を捨ててまで堂宇を建て、柴屋寺と称しました。時を経て、かの家康もこの寺を愛し、修復に携わったといわれています。

人々に愛され続けた柴屋寺。その最たる理由は、宗長自らが手掛けた庭園にあります。本堂に座り、静

【竹細工・灰吹き】

宗長自らが京の嵯峨野より移植したという竹で、作った竹細工。“吐月峰”を書いて“灰吹き”と読まれるほど有名。



【文福茶釜】足利義政より賜った茶釜。十五夜の晩はこの茶釜で湯を沸かし、お茶を振る舞った。



我を忘れたまま、
じつと静かに佇んでいくたくなるのです。

〔月見石より〕東山の竹林の笹が揺れているところに月が昇ると、まるで月が笹によって吐き出されているように見えることから、吐月峰の名が付いた。また、月が昇るまでの間は、待つ月をも楽しむために、茶会が催された。



〔庭園〕国の名勝・史跡に指定され、月の名所として名高い庭園。京都の銀閣寺を模している。

けさに安らぎを覚える頃。ほどよい広さ、陽の当たり具合、縁側の温かさに懐かしさがこみあげてきます。そしてじつじつと、草木を花を池を堪能。聞けば、この庭の池は北斗七星をかたどっているとのこと。月を水面に映し出し、庭に小宇宙をこしらえるなぞ、先人の洒落た心遣いに感心するばかりです。粋なはからいはこれにとどまらず、南を向けば、雪見が楽しめたという丸子富士。北をのぞめば、紅葉が眩しい首陽山。西はたとえば天柱山が...と、周囲の自然や、果ては宇宙までも取り入れるあたりはまさに圧巻。宗長

はここで、吹く風にだけ時間を感じながら、四季の移ろいに目を留め、耳を傾けていたのでしょう。

また、吐月峰といえば忘れてならないのが“月見石”。その名の通り、これに腰を掛け、浮かび上がる月をただじつと見つめ、風情を楽しんだといひます。誰のものでもない、その日その時に繰り広げられる幻想的な世界を、目で耳で肌で感じるということ。ただそこに在るものを楽しむことができるということ。それこそが、贅の極み。もしも経験できるのならば、最高の気分のまま、我を忘れていたいものです。

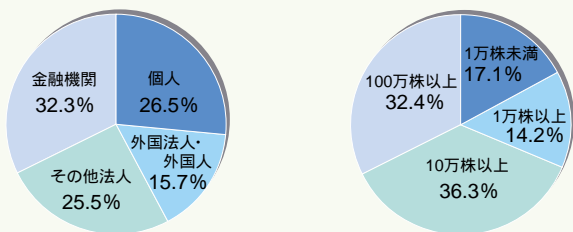


株式の状況 (平成12年2月29日現在)

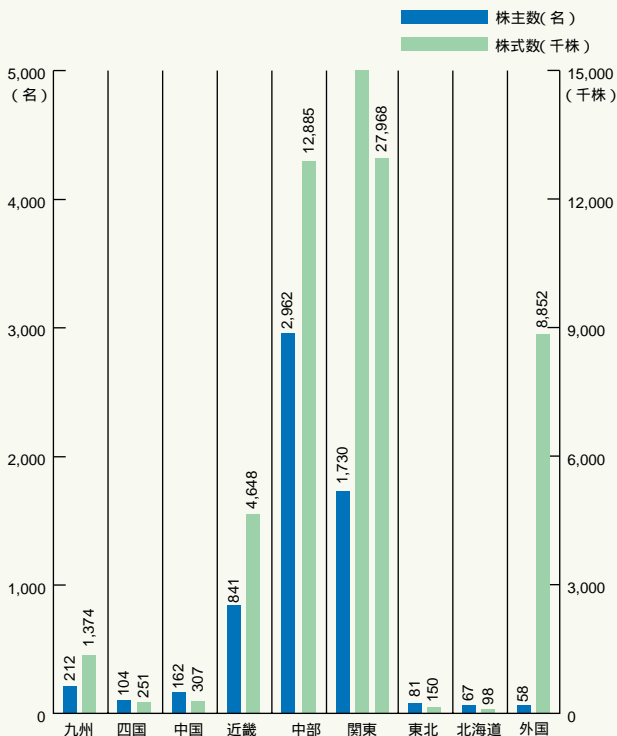
発行する株式の総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 56,533,234株
(注)当期中転換社債の株式への転換により、前期末に比べ38,990株増加いたしました。

株主数 6,217名
 1人平均持株数 9,093株
 当期中の名義書換件数 375件
 当期中の名義書換株式数 7,386,670株

所有者別・所有株数別分布状況



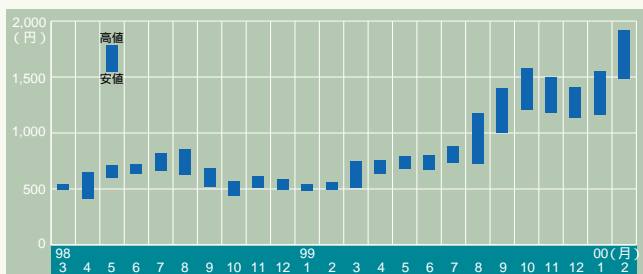
地域別分布状況



大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
シチズン時計(株)	8,658	15.3
(株)第一勧業銀行	2,348	4.2
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,857	3.3
(株)静岡銀行	1,582	2.8
三菱信託銀行(株)(信託口)	1,502	2.7
住友信託銀行(株)	1,341	2.4
リズム時計工業(株)	1,005	1.8
ピーピーエイチ フォー フィデリティー ジャパン スモールカンパニーファンド	930	1.6
朝日生命保険(相)	919	1.6
三菱信託銀行(株)	865	1.5

過去2年間の株価の推移 名古屋証券取引所市場第一部における高値/安値



株式についてのご案内

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載された株主をもって、その期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 本店 Tel.03-3212-4611(代表)
同取次所	東京証券代行株式会社 営業所および各取次所
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 ドイツ・フランクフルト証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単位の株式数	1,000株



スター精密株式会社

本社 / 〒422-8654

静岡県静岡市中吉田20番10号

TEL. 054-263-1111 FAX. 054-263-1057

<http://www.star-micronics.co.jp>